

山行報告書

作成:2013年10月9日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	薬師岳～立山縦走[北アルプス]	目的[方法]	五色ヶ原に泊る
期間	2013年8月14日(水)～17日(土)	形態	3泊4日テント泊
参加人数	1人		

行動記録:

8/13(火): 自宅(9:00)⇒立山駅 P(20:30)

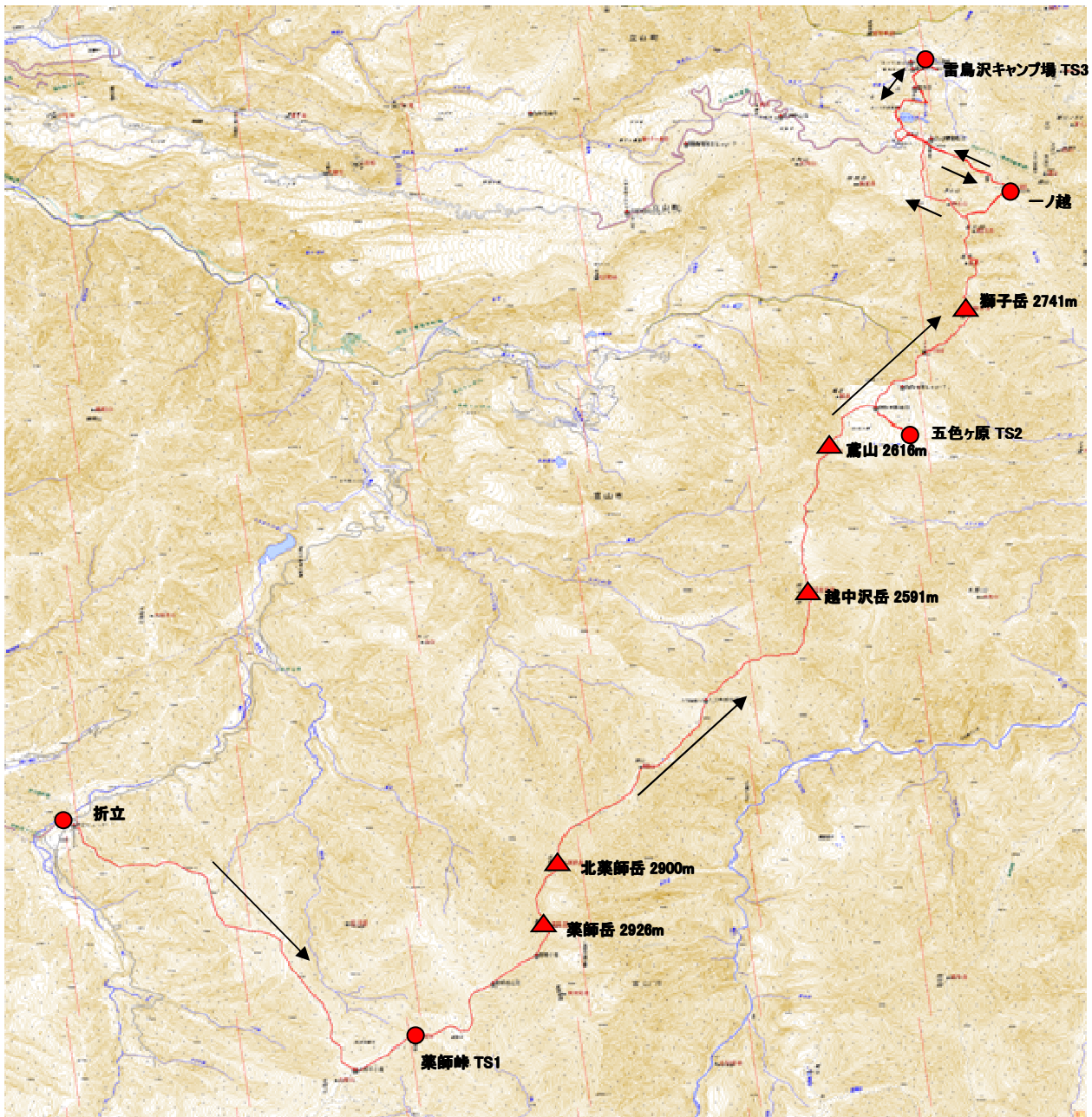
8/14(水): 立山駅 P(4:30,5:37)⇒有峰口(5:50,6:00)⇒折立 1350m(7:00)⇒P1870(8:20)⇒ 太郎平小屋(10:15)⇒薬師峠 TS1:2294m (10:45)

8/15(木): TS1(2:00,3:15)⇒薬師岳山荘(4:25)⇒薬師岳 2926m(5:30)⇒北薬師岳 2900m(6:30)⇒間山 2585m(7:30)⇒スゴ乗越小屋(8:05,9:00)⇒スゴの頭(10:15)⇒越中沢岳 2591m(12:30)⇒鳶山 2616m(14:00)⇒五色ヶ原キャンプ場 TS2(14:50)

8/16(金): TS2(2:00,4:30)⇒ザラ峠(5:40)⇒獅子岳 2741m(6:40)⇒ 鬼岳東面(7:10)⇒富大研究施設(8:20)⇒一ノ越 2705m(8:50,9:00)⇒みくりが池温泉(10:05,11:40)⇒雷鳥沢キャンプ場 TS3(12:00)

8/17(土): TS3(3:00,6:00)⇒ 室堂ターミナル(6:50,8:20)⇒一ノ越 2705m(9:50)⇒ 富大研究施設(10:30,11:00)⇒室堂(13:00)⇒美女平(14:00)⇒立山駅(14:10,14:30)⇒友人宅(17:00)

概念図:



日誌:

前日に立山駅に着くと一番近い駐車場は8割方埋っていた。朝起きると、駐車場じゃないところまで駐車されており、アルペンルートに向かう人で整理券の列が出来ていた。折立に向かうため、地鉄の始発に乗り有峰口まで乗る。乗ったのは自分だけだった。バス乗り場に行くと20人ほど並んでいた。皆どうやってここまで来たんだろうか？

バスに乗り折立に着くと、路注だらけで、車でここまで来なくて良かったと思った。重荷を担ぎ、ゆっくり歩き始める。三角点に着くと開けてきて遠くは縦走のゴール立山が見えてテンションが上がる。綺麗に整備された登山道を歩きあつという間に太郎小屋まで着いた。ここには1L缶のビールが1200円で売っていたが、担いできたビールがあるため購入は控えておいた。薬師峠のテン場に着くとまだ時間が早くチラホラ。ハイマツ脇にテントを張り、とりあえずビールで乾杯。動く気がなくなり昼寝。しかし暑くて目が覚める。続々とテントが増え、最終的には160張以上になっていた。晩には近くにテントを張った単独同士で宴会をし、明日の長丁場に備え、早めに就寝。

二日目は早立ちで薬師岳に向かう。薬師岳山荘の先の頂上で日の出時刻を迎えるが、ガスのため御来光は拝めず、雷鳥の鳴声は聞こえるが見姿は見えず。頂上で粘るもガスは晴れず、先へ進む。北薬師に着くとガスが晴れ、カールの絶景が待っていた。天気も良くなり、気分も上々でスゴ乗越小屋に到着。このとき、水の補給を忘れ、後で痛い目に遭う。

スゴの頭、越中沢岳はかなりの急登で一部鎖が無いと厳しい所もあり、水の量が増える。。。結果、水が無くなる。

越中沢岳頂上手前で、雪渓が残っており水を作り難を逃れた。越中沢岳からガスが出始め、小ピークが何度もありその度に心折れそうになるが、頑張って歩き、鳶山に着いた時にはかなり嬉しかった。後は下りだけで五色ヶ原のテン場に到着。

暫くすると、前日のテン場で宴会をした単独のお兄さんが到着。この日も長丁場のコースを歩いたことを讃えあい宴会夏合宿で潰れてしまった五色ヶ原コースだが五色ヶ原はチングルマのお花畑に囲まれた素晴らしいテン場で予想以上のロケーションでした。夜には満天の星空で流星群の極大も近く流れ星を見ることができた。

三日目はお兄さんと一緒に立山まで向かう。が、一ノ越まで着くと凄い数の人が雄山に登っている。やる気を無くし、ビールを飲み始め、みくりが池温泉に行き先変更。汗を流し、お兄さんは下山していった。雷鳥沢に下りてテントを張り三山を眺めながらボンヤリ過ごした。何時きても良いテン場だ。

四日目は大学時代の友人夫婦とハイキングするために室堂に向かい合流。一ノ越まで上がるが、昨日以上に混んでる。。浄土山周りで歩くことにしてノンビリとしたハイキングで四日間の締めくりとなった。

感想:

夏合宿で潰れてしまった五色ヶ原に泊ることが出来てとても満足！薬師から五色の長丁場は大変だったが、それが五色ヶ原の感動を増幅させてくれたんだと思う。五色にはまた泊りたいな。

参加者名